

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クリエアナブキ

コード番号 4336 URL <http://www.crie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藏田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 上口 裕司

TEL 087-822-8898

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,633	△2.5	63	—	69	—	38	—
26年3月期第3四半期	4,753	△10.1	△26	—	△20	—	△16	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 42百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.68	—
26年3月期第3四半期	△7.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	1,908	804	41.6	343.11
26年3月期	1,692	769	45.0	329.33

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 793百万円 26年3月期 761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△2.3	74	—	73	—	41	—	17.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	2,340,000 株	26年3月期	2,340,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	27,400 株	26年3月期	27,400 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	2,312,600 株	26年3月期3Q	2,312,600 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税増税や夏場の天候不順の影響から消費者マインドが低下し、個人消費に弱さが見られるものの、設備投資が横ばいで推移し、生産にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。

人材サービス業界においては、上昇を続けてきた有効求人倍率が横ばい圏内の動きとなっているものの、全体として雇用情勢は改善傾向にあります。また、派遣労働者の受入れ期間の上限を撤廃する法改正が見込まれるなど、雇用分野の規制改革が進もうとしております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、派遣市場の活性化に資する制度変更を前に、これを追い風として再成長を遂げるべく、強みを有する四国に経営資源を集中し、同地域での売上高・市場シェアの拡大をめざしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主力の人材派遣事業での減収により、売上高4,633,108千円（前年同四半期比97.5%）にとどまりました。しかし、利益面では、収益性の高い人材紹介事業や再就職支援事業が好調であったこと、売上原価の低減に努めたことなどから、営業利益63,244千円（前年同四半期は26,209千円の営業損失）、経常利益69,793千円（前年同四半期は20,796千円の経常損失）、四半期純利益38,574千円（前年同四半期は16,350千円の四半期純損失）となり、各項目において2年ぶりの黒字を計上することができました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの営業利益の合計額は389,915千円ですが、全社費用等の調整（調整額△326,670千円）により、四半期連結財務諸表の営業利益は63,244千円となっております。

#### ① 人材派遣事業

当事業の売上高は2,772,536千円（前年同四半期比97.5%）、営業利益は227,566千円（同110.0%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、平成26年4月に香川県丸亀市に支店を設置するなど、優位性を有する四国において可及的速やかに圧倒的な地位を確立すべく、同地域での営業体制の強化を進めております。前期中に期間制限がある自由化業務に係る派遣契約の満期終了が相次いだ結果、前年同四半期との対比では売上高が減少したものの、新規契約数が堅調に推移するなど、持ち直しの動きが鮮明になってきました。

#### ② アウトソーシング事業

当事業の売上高は1,594,755千円（前年同四半期比97.3%）、営業利益は55,647千円（同1,819.7%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、カタログ通販市場の低迷を背景に主たる取引先からの受注が減少したものの、売上原価の低減（人員配置の効率化など）に努めた結果、利益面では前年同四半期の実績を上回りました。

#### ③ 人材紹介事業

当事業の売上高は123,908千円（前年同四半期比109.3%）、営業利益は95,205千円（同103.9%）となりました。

収益性の高い当事業については、中四国を中心に、幅広い層を対象とした求人の開拓、求職者の確保に努めた結果、前年同四半期の実績を上回りました。なお、東名阪の3支店においては、Uターン転職支援に力点を置くなど、これまで以上に四国を意識した戦略を展開しております。

#### ④ 再就職支援事業

当事業の売上高は25,350千円（前年同四半期比630.0%）、営業利益は8,917千円（同1,684.4%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国を中心に地道な営業活動を展開した結果、大型案件の受注があり、前年同四半期の実績を大きく上回りました。

#### ⑤ IT関連事業

当事業の売上高は83,976千円（前年同四半期比71.0%）、営業損失は1,964千円（前年同四半期は21,379千円の営業利益）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、前期に引き続き、マイクロソフト社SharePointに関する技術者向けトレーニングが人気を集めました。しかし、平成27年2月に販売を開始する新商品「バーチャルクラス」の開発・動画作成等のために、期の前半に時間的な制約から受託件数を抑制した結果、前年同四半期の実績を下回りました。

⑥ その他

上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は32,581千円（前年同四半期比89.7%）、営業利益は4,542千円（同142.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ215,385千円増加して1,908,055千円となりました。これは、現金及び預金の増加（694,121千円から943,079千円へ248,957千円増）、投資有価証券の増加（9,357千円から30,572千円へ21,215千円増）などによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ179,921千円増加して1,103,336千円となりました。これは、短期借入金の増加（26,000千円から65,000千円へ39,000千円増）、消費税率引上げに伴う未払消費税等の増加（48,606千円から180,932千円へ132,326千円増）などによるものであります。

なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ9,402千円増加して242,570千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ35,463千円増加して804,718千円となりました。これは、配当金の支払い及び四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動（412,396千円から444,032千円へ31,636千円増）などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期より3.4ポイント低下して41.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、平成27年2月6日付 当社「平成27年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料及び上記の適時開示資料をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	694,121	943,079
売掛金	684,706	639,743
仕掛品	279	609
原材料及び貯蔵品	1,181	722
前払費用	26,003	24,474
未収還付法人税等	-	3,230
繰延税金資産	41,369	35,483
その他	3,095	13,441
貸倒引当金	△1,435	△1,028
流動資産合計	1,449,322	1,659,757
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,838	9,361
工具、器具及び備品（純額）	8,212	10,143
その他（純額）	163	-
有形固定資産合計	19,214	19,504
無形固定資産		
のれん	68,716	51,046
ソフトウェア	22,835	24,910
電話加入権	4,188	4,188
その他	42	9
無形固定資産合計	95,783	80,154
投資その他の資産		
投資有価証券	9,357	30,572
繰延税金資産	22,480	24,224
差入保証金	95,083	93,129
その他	1,428	712
投資その他の資産合計	128,350	148,638
固定資産合計	243,348	248,297
資産合計	1,692,670	1,908,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	26,000	65,000
1年内返済予定の長期借入金	39,464	39,464
未払金	71,933	69,607
未払費用	428,687	443,880
未払消費税等	48,606	180,932
未払法人税等	9,159	16,283
預り金	10,598	45,957
賞与引当金	54,292	34,733
その他	5,124	2,388
流動負債合計	693,867	898,248
固定負債		
長期借入金	167,704	138,106
退職給付に係る負債	61,844	66,981
固定負債合計	229,548	205,087
負債合計	923,415	1,103,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	412,396	444,032
自己株式	△6,646	△6,646
株主資本合計	761,469	793,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	370
その他の包括利益累計額合計	131	370
少数株主持分	7,654	11,242
純資産合計	769,254	804,718
負債純資産合計	1,692,670	1,908,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,753,569	4,633,108
売上原価	3,887,613	3,691,016
売上総利益	865,956	942,091
販売費及び一般管理費	892,165	878,846
営業利益又は営業損失(△)	△26,209	63,244
営業外収益		
受取利息	59	68
受取配当金	15	16
持分法による投資利益	2,543	3,846
業務受託手数料	186	180
受取賃貸料	1,929	1,969
助成金収入	2,758	3,310
その他	163	233
営業外収益合計	7,654	9,625
営業外費用		
支払利息	2,241	3,077
営業外費用合計	2,241	3,077
経常利益又は経常損失(△)	△20,796	69,793
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,398
特別利益合計	-	1,398
特別損失		
固定資産売却損	-	2,059
固定資産除却損	-	626
特別損失合計	-	2,685
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20,796	68,506
法人税、住民税及び事業税	8,857	22,332
法人税等調整額	△13,796	4,010
法人税等合計	△4,938	26,343
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,857	42,162
少数株主利益	492	3,587
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,350	38,574



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△15,857	42,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	239
その他の包括利益合計	△4	239
四半期包括利益	△15,862	42,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,354	38,813
少数株主に係る四半期包括利益	492	3,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	再就職支援 事業	IT関連事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,842,639	1,639,019	113,315	4,024	118,241	4,717,239	36,329	4,753,569	—	4,753,569
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,527	—	—	—	675	5,202	225	5,427	△5,427	—
計	2,847,167	1,639,019	113,315	4,024	118,916	4,722,442	36,554	4,758,997	△5,427	4,753,569
セグメント利益又は セグメント損失(△)	206,919	3,058	91,638	529	21,379	323,525	3,182	326,707	△352,917	△26,209

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修・測定サービス等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△352,917千円には、セグメント間取引消去5,070千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△357,987千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	再就職支援 事業	IT関連事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,772,536	1,594,755	123,908	25,350	83,976	4,600,526	32,581	4,633,108	—	4,633,108
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	57,893	—	—	—	675	58,568	588	59,157	△59,157	—
計	2,830,429	1,594,755	123,908	25,350	84,651	4,659,095	33,170	4,692,265	△59,157	4,633,108
セグメント利益又は セグメント損失(△)	227,566	55,647	95,205	8,917	△1,964	385,372	4,542	389,915	△326,670	63,244

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修・測定サービス等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△326,670千円には、セグメント間取引消去2,070千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,740千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。